

特集

ヨハネスブルグサミットに向けて

## 代表派遣！

1992年ブラジル・リオサミットから  
2002年ヨハネスブルグ・サミットへ

今年8月26日(月)から南アフリカのヨハネスブルグで「持続可能な開発に関する世界首脳会議」通称「ヨハネスブルグサミット」が行なわれます。このサミットでは1992年リオサミットで採択されたアジェンダ21の具体的な実行計画を決める「実施文書」の採択などが話し合われます。この10年の活動の見直しをする機会でもあり「リオ+10」とも言われています。

そこで、地球サミットを機に誕生したMELONからも、人員を派遣しようということが、今年の第1回理事会(5/7)で確認されていました。そして、7月2日(火)の第2回理事会においてMELONからの派遣者を発表し、承認されました。

MELONから派遣者は次のとおり。

## 南 隆昭

(MELON事務局員・ストップ温暖化センターみやぎ担当)

◇プロフィール◇

2001年7月よりストップ温暖化センターみやぎ担当スタッフとして着任。京都大学大学院時代に北タイにて半年間研究生活を送る。現在、アジェンダ21全文を再勉強中。

連日 35℃の暑さがつづく中  
緑陰で交流する NGO



リオデジャネイロ・フラメンゴ公園  
グローバル・フォーラム会場にて(1992年6月)

派遣者には現地の状況取材してもらい、現地の生の様子をホームページ上で送信してもらう予定です。(渡航費については地球環境基金の助成金が出る事が決定しております。)

なお、8月3日(土)に「サミット緊急市民集会」を行ないます。宮城の市民からの提言を世界に発信し、さらに世界の動きを宮城での環境保全活動に反映させるためこの機会に、是非ご参加ください。

《サミット緊急市民集会》

日時:8月3日(土)13:30~16:00

場所:フォレスト仙台 501 会議室

## 学習講演会開催

「ヨハネスブルグサミット  
と  
気候変動問題」

去る6月14日(金)夜、フォレスト仙台5階にて、気候ネットワークの平田仁子さんを御招きして「ヨハネスブルグ・サミットと気候変動問題」について講演していただきました。

平田さんからは、「京都議定書の発効は、ヨハネスブルグでは無理であり、サミットは大きな目玉を失った。」「環境問題もテーマの一つ、という大きな会議であるため、NGOでも意見を出せるかぎりぎりのところ。」など、各国の状況や、日本政府、NGOの状況について報告して頂きました。

ヨハネスブルグ・サミットに関する詳しい情報は下記のサイト等に掲載されています。ご興味のある方はどうぞ。

ヨハネスブルグ・サミット2002

(環境省/地球環境パートナーシッププラザ/環境gooによって運営されているサイト)

<http://eco.goo.ne.jp/wssd/index.html>